

通年闘争で人員確保・確定闘争勝利を！



8月27日、新潟県新潟市「朱鷺メッセ」において2018-2019年度 自治労現業評議会総会が自治労第90回定期大会の事前会議として開催され、現業評議会の運動方針が決定されました。

「組織強化」「人員確保」「職の確立」など基本的な取り組みに変更はありませんが、今年度提案された6月期の人員確保闘争を一つの山場とし、10月の確定闘争と合わせて通年闘争として闘う方針が示されました。また、「臨時・非常勤等職員の組織化と処遇改善」が提案され、2020（平成32）年度から施行される新たな一般職非常勤職員の制度（会計年度任用職員）に対応するための取り組みが提案されました。「労働災害撲滅に向けた取り組み」「災害時に迅速に対応できる職場の確立」等、現業ならではの諸問題に対する取り組みも満場一致で可決され、小迫現業評議会事務局長の「団結ガンバロウ」で総会を閉じました。本部方針に従い運動を推し進めましょう。

